

■ 車両メモの設定

1. 車両の整備を完了し、請求書伝票を作成した時点で部品・油脂・その他の消耗品や交換パーツの時期など、気になったことを車両メモ欄に記入します。

次回、その車両が再在庫した時に請求書伝票を開くとポップアップが出て、「この車両には車両メモが登録されています。」と表示し、注意喚起を促します。

車両メモ欄に、前回、記入した内容が表示しますので、整備作業が効率よくできるようになります。

The screenshot shows the '見積書 Ver4.28.3' software interface. At the top, there is a search box containing '117' and a '検索' button, both highlighted with a red box and arrow (1). Below this, the main form displays customer information (山田 太郎) and vehicle details (トヨタ パッソ). A confirmation dialog box is overlaid on the form, displaying the message 'この車両には車両メモが登録されています' and an 'OK' button, highlighted with a red box and arrow (2). At the bottom left, the '車両メモ' field contains the text 'フロントブレーキパッド、種類が次回交換要' and is highlighted with a red box and arrow (3). The interface also includes various input fields for dates, times, and costs, as well as a table for work items and a summary section for taxes and fees.

2. ①の検索枠に登録番号の下4桁を入力し、「検索」ボタンをクリックすると対象車両の情報が表示します。前回、請求書伝票を作成時に車両メモ設定がされている場合のみ、②のようにポップアップ表示がされます。

③で前回、記入した内容が表示しています。

3. 車両メモの内容を削除すれば、次回からポップアップは表示しません。

※ 車両メモの内容はお客様にお渡しする整備見積書や整備請求書には印字されません。